

令和元年（2019年）度 オホーツク海外海放流ホタテガイ貝柱歩留不良予報

概況

観測結果から、歩留不良発生の可能性は極めて低い。ただし、高密度に天然貝が見られる海域においては、予測より歩留が低下する可能性がある。

海域：オホーツク総合振興局管内海域

レベル：1

短期、長期にわたり歩留不良の可能性が低い。

予報期間：令和元年（2019年）6～7月（短期）

発生確率：0.04～0.07

予報期間：令和元年（2019年）6～10月（長期）

発生確率：0.07～0.10

警戒レベル	意味
1	発生確率が極めて低い
2	発生確率は短期でやや高く、注意が必要
3	発生確率が高水準であり、警戒が必要
4	発生確率は最高水準にあり、十分な警戒が必要
5	広域・長期にわたり発生確率が高く、全域で十分な警戒が必要

注：貝柱歩留不良予報は、4、5月の4つの観測値、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコゲン濃度、最大クロロフィル濃度、最大海水温差（最高水温－最低水温）から、6、7月の短期と、6～10月の長期の貝柱歩留不良を統計的確率モデルで予測しています。